

今昔物語

その59

井田の田掻き大会

井田地区



昭和17年ごろ撮影



現在

今回は井田の田掻き大会の写真を紹介します。

田掻きとは、本来、水が引き入れられた田んぼの土をかき回す農作業の一つですが、農耕用の牛の品評会と牛の使い手(馬子)の競技会を兼ねて各地で田掻き大会が開催されていたそうです。

写真には2頭の牛と馬子が田掻きをしており、その様子を多くの人が観戦しています。競技は、決められた回り方で田掻きを行い、きれいに田をならすことで牛の扱いの巧さなどを競っていたそうです。

井田の田掻き大会では、屋台が出ていたほか、近隣の地域からも出場者が集まるなど盛況に開催されていたそうで、昭和30年ごろまで、当時数少ない娯楽の一つとして親しまれていました。

昔の風景写真を募集します

広報さほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。

本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

ひょうたん屋

中学生の職場体験を受け入れ

6月に矢洲中学校と相野谷中学校の生徒さんの職業体験を受け入れました。

体験では、広報ができるまでの流れ、カメラの使い方、インタビューの仕方などを説明し、その後実際にカメラを持って写真の練習。仕上げにウミガメ公園や保育所、飲食店などに職業体験に行っている同級生を取材させていただき1枚の紙にまとめました。

2日間という短い時間のなかで、生徒のみさんも、初めは緊張した様子でしたが、重いカメラを持って、アングルを工夫しながら撮影し、インタビューではしっかりとメモするなど、真面目に取り組んでくれていて、今回の経験が少しでも役に立ってくれば嬉しいですね。僕自身も、今回の受け入れを通して、改めて学ぶことも多く、貴重な経験をさせていただきました。

(未来の広報担当者養成講座? 愛野裕基)

夏バテには要注意

夏も本番を迎え、今月号の表紙やまちのわだいにもあるボディペインティングの様子からも、存分に夏を感じていただけるのではないのでしょうか。

私はつい日焼け防止グッズを取り入れはじめたのですが、帽子を深くかぶって取材をしていると「だれかわからなかった」と言われました。後で自分の姿を鏡で見ると、身バレ防止のために変装する芸能人風で、思わず「ぶっ」と笑ってしまいました。なんだか気取っているみたいで恥ずかしくなりましたが、この夏はこのスタイルを貫いていこうと思います。

まだまだ暑い日が続きますが、夏をたのしみながら、体調管理をしっかりと暑さを乗り切りたいものです。
(気分だけは一流芸能人 大森菜央)



広報担当 大森菜央



広報担当 大森菜央